



根気よく治療を 水虫



水虫は足白癬あしはくせんといい、病原性のカビの一種である白癬菌が足に感染して生じます。特に成人男性に多く見られるごくありふれた疾患です。ひとたび感染するとなかなか治りにくく実にはやっかいな皮膚病です。家族内感染をはじめ、公衆浴場や温泉などの足拭きマットやスリッパから感染することが多くあります。白癬菌は皮膚の一番表面の角質層に入って増殖しますが、これを排除しようとして細胞免疫反応が生じた結果、かゆみなどの症状が出てくるとされています。白癬菌は高温多湿の環境を好むため夏場に症状が悪化することが多く、主な症状は、足の裏に小さな水疱みずうぶができてかゆみが生じるもの、指の股の皮膚が白くふやけるもの、足の裏が広く乾燥してカサカサするものの3つのタイプがあります。細菌感染をともなつて赤く腫れたり化膿のりすることもあります。

治療は白癬菌に効く外用薬が多く出ているので、根気よく毎日1回患部に外用します。症状が完全に消え

てもすぐに再発しますので、数カ月間は治療を継続することが必要です。まれに薬をつけているのに症状が悪化することがありますが、薬によってかぶれていると思われるので、別の薬に変えるなどするほうがよいでしょう。いくら外用してもよくなる場合や爪にも水虫がある場合は内服薬を飲むことも考慮します。内服薬を長期にわたって飲む場合には、副作用をチェックするため定期的に血液検査を行う必要も出てきます。

水虫は治りにくい疾患ですが、決して不治の病ではないので根気よく治療を継続することが大切です。予防法としては感染する可能性のある場所に行ったときはできるだけ早く足をよく洗い、常に足を蒸れないように乾燥させること、家族に水虫の人がいる場合は放置せずに治療し、足拭きマットの共有を避けるなどの注意をすることで感染を防ぎましょう。

吹田市医師会

遠藤

秀彦